

森ノ宮駅(JR環状線)

古代の大阪と千利休に細川ガラシャ

森ノ宮駅(地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.020

JR・地下鉄森ノ宮駅

① 鵠森宮

- 推古6年(598)に鉄鋼業の祖・吉士磐金よしのいわかねが新羅かきまろより鵠2羽を献上して「難波なにわの森」で飼育したと『日本書紀』にあります。カササギはカチガラスとも呼ばれ、韓国の国鳥です。森之宮神社ともいわれ、聖徳太子が四天王を祀って建立した寺がもともとここであったともいわれています。
- 寺はのちに移転して現在の四天王寺になったということです。

② 亀井水碑

- このあたりに温泉がわき出て、聖徳太子が長寿の霊水として亀井水と命名しました。四天王像とともに四天王寺に移されたとか。四天王寺には実際に亀井堂があります。

③ 森ノ宮遺跡

- 大阪市では数少ない貝塚が見つかっています。また縄文期の地層から屈葬人骨18体が見つっていますが、この人たちが大阪市民第1号でしょう。発掘された地層からは河内湾から河内湖へ変遷する地形がうかがわれます。

④ 玉造稲荷神社

- 社伝によれば垂仁天皇18年(紀元前12年)に創建されたとあります。古代は玉作岡と呼ばれた



- 地で、勾玉などを作る玉造部が住んでいました。江戸時代には難波なにわの市街地から伊勢参りに出かける出発点になりました。

⑤ 秋田實笑魂碑

- 玉造稲荷神社にあり、玉造出身の上方漫才の父・秋田實を記念する碑です。横山エンタツ・花菱アチャコの漫才「早慶戦」の台本を書いて一躍、人気作家になりました。ミヤコ蝶々・南都雄二、夢路いとし・喜味こいし、秋田アスケ・Bスケ、晩年にオール阪神・巨人、宮川大助・花子、太平洋ブロー・シローなどを育てました。

⑥ 千利休居士顕彰碑

- 豊臣時代、千利休は玉造に屋敷を構えていたといわれ、秀吉、淀殿、秀頼らが野点の茶会を楽しんだとされています。そこでこの地に顕彰碑が建てられました。

⑦ 大阪カテドラル聖マリア大聖堂
(大阪玉造カトリック教会)

- 創設は明治27年(1894)、空襲で焼かれて昭和38年(1963)に再建されました。この地は細川家の屋敷跡で、戦国の世にカトリックに帰依した細川珠たま(=ガラシャ)は、悲劇の最期をその屋敷で迎えました。日本画家・堂本印象が描いたガラシャの画が教会に掲げられています。ガラシャ夫人の像もあります。

⑧ 越中井

- 細川家の大阪屋敷跡に残った唯一の遺構です。



JR・地下鉄森ノ宮駅

